平成26年8月

会員各位

資産評価政策学会

会長　三橋　博巳

平成26年度　資産評価政策学会　総会・シンポジウムのお知らせ

拝啓　会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、平成26年度総会及びシンポジウムを下記のとおり開催することが決まりましたので、ご多用のところ恐縮ですが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようご案内申し上げます。出欠につきましては、メール･ＦＡＸ･ハガキにてご連絡くださいますようお願いいたします。

敬 具

記

１．日時　2014年9月6日（土）13：00～

２．会場　日本大学経済学部7号館2階大講堂（東京都千代田区三崎町2－8））

３．プログラム

総会　　　　　13：00～13：50

学会賞表彰式　14：00～14：20

シンポジウム　14：30～17：30

　懇親会　　　　18：00～19：30（会場：日本大学経済学部7号館14階予定）

＜総会＞

（1）審議事項

第1号議案 平成25年度事業報告及び収支決算（案）

第2号議案 平成26年度事業計画及び収支予算（案）

（2）報告事項

・平成26年度資産評価政策学会賞

・その他

＜学会賞表彰式＞

＜シンポジウム＞

資産評価政策学会　「総会・シンポジウム」出欠表

○総会　　　　　　　　　　出席　　　欠席

○シンポジウム　　　　　　出席　　　欠席

○懇親会　　　　　　　　　出席　　　欠席

当日、ご欠席の方は、下記の委任状にもご記入の上、8月29日(金)までに必ずご返送くださいますようお願いします。

会員氏名

委　任　状

私は平成26年9月6日開催の資産評価政策学会総会における議決権を議長に委任いたします。

氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成26年　　　月　　　日

平成26年度　シンポジウム

・日時

2014年9月6日（土）14:30~

・テーマ

『固定資産税評価の現状、課題、展望：土地の評価を中心にして』

・趣旨

 固定資産税は、都市計画税と合わせると、市町村税収の約５割を占める。市町村にとって基幹税として重要である一方で、民間経済活動等に対する影響も大きなものがあり納税者の関心も高い。

土地の評価は、全国1700を超える地方団体が約１億8000万筆の土地を対象に行う大量一括評価であり、適正、公平な評価と課税、評価の均衡の確保が強く求められている。

平成６年度の評価替えにおけるいわゆる７割評価の導入から２０年を経過した今、改めて固定資産税評価のこれまでの進展、社会経済状況の変化等を踏まえ、土地の評価を中心に、その現状、課題、今後の展望について、国、地方、民間のパネリストによるパネルディスカッションを行う。

パネルディスカッション

コーディネーター： 渡邉　文雄（資産評価システム研究センター理事長）

パネリスト: 永井　克典　(総務省自治税務局固定資産税課固定資産鑑定官)

石井　優　　(日本不動産研究所システム評価部長)

今村　政夫　(朝日航洋株式会社主任研究員)

岡島　茂　　(東京都主税局資産税部資産評価専門課長)

・会場

日本大学経済学部7号館2階大講堂（東京都千代田区三崎町2－8））

靖

国

通

り

神保町駅

地下鉄：半蔵門線

新宿線

三田線

東洋高校

東京歯科大学

経済学部

3

号館

経済学部

5

号館

御茶の水

飯田橋

白

山

通

り

経済学部

本館

経済学部７号館

法学部

２号館

J

R

**水**

**道**

**橋**

**駅**

経済学部

２号館

(問い合わせ先)

学会事務局　　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-2千代田印刷会館505号室

　　　　　　　　　　　 Mail：japap00＠gmail.com

 FAX：03-5355-7307